

NPOを選択した日本社会と社会資本整備の可能性

【講師】特定非営利活動法人 NPOサポートセンター 理事長
(株)第一総合研究所 所長
山岸 秀雄

1. NPO (Non-Profit Organization) を選択した日本社会
「政府の失敗、市場の失敗」 「経済一辺倒社会」から「成熟した市民社会」へ
NPOの社会的役割
2. NPO (Non-Profit Organization) は市民活動の「経営戦略」である
NPOとはなにか NPOの領域 NPOの特徴と強み
3. アメリカと日本のNPO
NPOの実態 アメリカのNPO 日本のNPO
特定非営利 12 分野 日本のNPO制度はアメリカに30年遅れて成立
4. NPOは問題解決の資源を組織化する・事業化する
ネットワーキング(市民の力を組織する)
パートナーシップ(市民・行政・企業の力を組織する)
NPOプラットフォーム(広域・多様な力を組織する)
5. NPO地域プラットフォーム(舞台)・コミュニティビジネス支援センターをつくる
地域プラットフォーム 情報プラットフォーム 政策プラットフォーム
6. 「新しい公共」「新しい価値」を創る
政府の対応 文部科学省・経済産業省等を例に。
7. NPOの対応・・・下請けではないNPOをどうつくるか
8. NPOの国土交通省における「社会資本マネジメント」
社会資本マネジメントにおけるNPOと行政のパートナーシップ
社会資本マネジメントにおける想定される連携の分野
今後の展望と課題

【プロフィール】

山岸 秀雄(1946年生まれ)

(特定非営利活動法人)NPO 支援センター理事長 / (株)第一総合研究所、(株)第一書林の代表。

明治大学経営学部特別招聘教授・法政大学大学院非常勤講師。

法政大学社会学部卒業、日本電信電話(現NTT)を経て現在に至る。

1988年の訪米以来、日本でNPO、非営利・独立型のシンクタンク作りなどの新しい実践活動に入り、1993年に日本で最初のNPO支援組織「NPOサポートセンター」を設立を創業。